

会 議 事 録

1 会議名	令和元年度第2回長岡市寺泊水族博物館協議会
2 開催日時	令和2年 2月19日(水) 午後3時00分から午後4時45分
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター(はまなす) 3階小研修室
4 出席者名	協議会委員 柳下委員長、金内副委員長、石井委員、大浦方委員、品田委員 田中委員、遠山委員、古川原委員、山田委員 委員以外の出席者 小池教育部長、河内寺泊支所長 大矢政策企画課長 (事務局=科学博物館) 小熊科学博物館長、佐藤科学博物館長補佐 青柳寺泊水族博物館長、安藤主査、矢引主査、田中臨時職員
5 欠席者名	中川委員
6 議題	報告(1) 令和元年度事業実施状況について (2) 令和2年度事業実施計画について(案) (3) 水族博物館整備事業について

7 審議結果の概要	<p>(1) 令和元年度事業実施状況について 概要を事務局より報告</p> <p>(2) 令和2年度事業実施計画について(案) 概要を事務局より提案</p> <p>(3) 水族博物館整備事業について 概要を事務局より報告</p>
8 審議の内容	
事務局	<p>(1) 令和元年度事業実施状況について (資料により説明) 主な意見は次のとおり。</p>
委員	<p>私も PayPay を利用していて、QRコード支払いの経験があるが、やはり後ろに人が並んでいるとストレスやプレッシャーを感じてしまい現金で支払うことがある。スーパー等のレジでも待ち時間は発生するので、夏休み期間等お客様が増える時期の寺泊水族博物館での待ち時間対策は必須であると感じた。</p>
事務局	<p>現在の方式では事前に PayPay を起動して下さっているお客様の場合は現金決済よりも早く済ませることができるが、入館料をお伝えしてから準備されたり、操作に不慣れなお客様の場合はやはり時間がかかる。</p>
事務局	<p>バーコードリーダーを導入すれば待ち時間の軽減が期待できるが導入にコストがかかるため、実証実験ということもあり今回は導入しなかった。</p>
委員	<p>受付を二人体制にして、PayPay 決済と現金決済を分けて行うことはできないか。</p>
事務局	<p>人数が決まっている以上難しいが、金額の打ち間違い等問題が発生した場合は、事務室から職員が応援に駆け付け、流れが止まらないようにする体制は必要だと考えている。</p>

委員	JAF の広報誌に記載されている寺泊水族博物館の説明と割引情報を見て、利用者の利便性をよく考えていると感心した。
委員	<p>先ほど館内を観覧したが、ペンギンの紹介コーナーにペンギンの家系図や名前が紹介されているだけではなく、ペンギンたちを見分けるための識別ラベルの色分けという専門的な話まで紹介されていてペンギンたちに対してとても親近感がわくように工夫されていた。</p> <p>ペンギン型のヘルメットや羽まで作りペンギンになりきって写真が撮れるコーナーは、今の時代に合わせた素晴らしいアイデアである。模型に重りを入れる等工夫して実際の卵やヒナの重さを触って体験できる展示も素晴らしい。</p> <p>特に目を引いたのはペンギンに与える餌の重さを再現したポリバケツで、子供たちが何気なく持ち上げてみた時に「ペンギンはこんなに餌を食べるのか」「飼育員は毎日これを運んでいるのか」等いろいろな感想が浮かぶであろうと感じた。</p> <p>重要なのは、このような優れた展示を作るのはペンギンではなく人間であるということ。</p> <p>水族館はろ過装置など機械設備の塊であり、必ず建て替えなければならないが、現状それが難しいことは理解している。</p> <p>そこで、今やらなければいけないことは将来の建て替えに備えて優秀なスタッフを確保しておくことであり、優秀なスタッフが働き続けられる待遇、職場を作らなければならない</p> <p>そこをコストとして切り捨てていくと、建て替えの際に魚たちはいてもそれを効果的に展示、情報発信できる肝心の人間がいないという状況になりかねない。</p> <p>特に水族館は専門職であることを考えて、一律の予算付けを行うのではなくて、優秀な人材を安定して定着させることを他の部署以上に意識してほしい。</p>
委員	<p>寺泊水族博物館の規模でこれだけの入館者がいることは素晴らしい。</p> <p>とある水族館ガイドブックを例にあげると、そこで紹介されている186種の内53種が、羅列的ではなく工夫されて展示されていることが効果的なのではないかと思う。</p>
委員長	それらに加えて、ここにいる委員の皆さんが率直に忌憚のない意見を絶えず出してくれていることも寺泊水族博物館をより良くすることに

委員	<p>貢献していると思う。</p> <p>半年ぶり訪れてみたが、照明が変わったことで館内の雰囲気が変わり、今まで気に留めていなかった魚にも目がいくようになった。</p> <p>素通りしてしまって存在に気付かなかった魚もいて、それを SNS へ投稿したところとても高評価を受けた。</p> <p>餌付けショーを行う大回遊水槽の手前側の照明だけが青くなっておらず、「なぜあそこだけ青くないのだろう」というお客さんの声も聞こえた。</p> <p>お客様が意見を自由に書けるコーナーに書かれていた質問を見て私も知りたくなったので、飼育員が質問に対する回答を書いてあげると良いのではないかと感じた。</p> <p>たとえ質問者が再度見なくても、ほかの人が読んで疑問のまま帰るよりは、答えがあった方が良いと思う。</p>
事務局	<p>照明に関しては、今まで使っていた蛍光灯が製造中止になったため順次 LED 化を進めているところである。大回遊水槽の青いライトは、交換に合わせて試験的に変えてみたものである。</p>
委員	<p>アロワナの水槽もライトが青色に変わっていて、奥に鳥の人形があることを初めて知った。</p>
事務局	<p>そちらの水槽は、以前、水槽内にあったライトが漏電したため通路側からライトを照らしてみたが、まだ暗いため改善の必要がある。</p> <p>水槽の後ろ側を明るくしようと考えていて、手直し中である。</p> <p>だが、LED 化によって水槽内に苔が生えやすくなり、飼育員の作業的負担が増えてしまうため、対策を考えなければならない。</p>
委員	<p>ガラルファの水槽にて、水槽内に手が届かない子供が無理やりつかまって手を入れようとしていたのを見て水槽が倒れないか危険を感じた。</p>
事務局	<p>水槽の裏側で固定してあるため倒れることはない。</p> <p>過去にクリオネの水槽を小さなお子さんが倒してしまったことがあり、幸いに怪我はなかったが、それ以来対策を施している。</p>

委員	ガラルファ水槽の高さを下げることはできないのか。
事務局	技術的には可能だが予算的に難しいため、当面は踏み台の高さを調節する等の対応を行っていく。
委員	観覧する方向によって死角になってしまうが、ガラルファ水槽の移動はできないのか。
事務局	職員からも別の所へ移動させる提案はあったが、この水槽は人が滞留してしまうため、別の場所では通行の妨げになってしまうことから、今の場所が良いと考えている。
委員	科学博物館でもらったパンフレットに、亡くなったアザラシのペペがまだ載っていた。
事務局	新しく作成したパンフレットでは削除してある。
事務局	(2) 令和2年度事業実施計画について(案) (資料により説明) 主な意見は次のとおり。
委員	14日の毎日新聞に、マリンピア日本海にて浜に打ち上げられたリュウグウノツカイを展示している旨と大きな白黒写真が掲載されていたが、見に行こうとは思わなかった。 だが翌日15日の毎日小学生新聞にて、掲載されていたカラー写真で綺麗な赤いヒレがしっかりと残っているのが目に留まり、見に行くことを決めた。 実際にマリンピアの職員と話をしたが、通常は浜に打ち上げられたリュウグウノツカイはカモメにつつかれて展示できる状態ではなくなってしまうが、今回は職員が駆け付けるまで情報提供して下さった漁師の方がカモメを追い払ってくれていた。 この件で感じたことは、漁師の方の気配りが展示につながったことと、大きくても白黒写真では興味をそそられなかったが、カラー写真の綺麗な色彩で見に行くことを決めたように、何をどのように情報発信することが来館につながるのかを考えなければならない。 実際に見に行ったことで、大きさの迫力や表面の質感など発見があっ

事務局	<p>た。</p> <p>先ほどガイドブックにて記載された内の約三分の一が寺泊水族博物館で展示されているというお話もあったが、いかにお客様に来ていただくかを考え、来ていただいたお客様から実物に触れていただくことが一番の教育になると思う。</p> <p>集客というと人が多く来ればいいと思われがちだが、それだけの評価基準ではいけない。たくさんのお客さんに来ていただき、リピーターを増やすことは、ペンギンや魚たちが自分のすごさをアピールするための場を作ることになる。</p> <p>リュウグウノツカイやサケガシラ等体長の長い生物の写真を撮るには高いところが必要であり、水族博物館では入口階段脇にブルーシートを敷いて撮影する。以前、漁師の方からいただいたサケガシラをそうやって撮影していたら、お客様も興味を示して近くに寄ってきて、実物を見たり触ったりしていただいたことがある。</p> <p>寺泊の漁師の方々から情報を頂くこともあれば、捕れるであろう魚をこちらから事前にお願いでその魚をいただいたりもしている。</p> <p>以前直径1メートルほどのエチゼンクラゲが水族館のまわりにいたことがあり、お客様に見ていただくとしたが、重すぎて海から上げられなかった。</p> <p>実物を知るとはとても大切なことだと思うので、真似をするわけではないが、寺泊水族博物館でも実践していきたい。</p>
事務局	<p>(3) 水族博物館整備事業について (資料により説明)</p> <p>主な意見は次のとおり。</p>
委員長	<p>協議会を行うに当たって事前に水族博物館長とお話しをした。5、6年前は建て替えについて話をしていたが、昨日の新聞では長岡市は予算をさらに削ったとのことで、とても新築などという言葉は出せないなと思った。</p> <p>先ほど水族館はいずれ建て替えが必要となり、そのために人材の確保が大切であるという話があったが、いざ建て替えるというときに、人がいないから他所から集めようとするのではなく、寺泊に根付いた人材を育成していかなければならないのではないかと感じた。</p>

<p>政策企画課長</p>	<p>先日の予算発表の記者会見で、市長が体質改善を進めながら更なる行政改革を進めていくとお話しされていたが、近々の大規模な建て替え事業は限りなく難しいと感じている。</p> <p>一方で、市長への手紙で「寺泊の大事な観光資源である寺泊水族館について、老朽化してきているので何とかした方がいいのではないか」という意見もいただいている。</p> <p>これから県が進める道路や港の整備がどうなるのか不透明だが、地元の皆様と協力して進めていきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>建て替える際に、海からの取水をやめてしまっは水族博物館として成り立たない。現在、沖から海水を引いてくることに関して砂等の問題はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>取水に問題は無いが、水族博物館周辺に砂が堆積することで、海が荒れた際に流木やペットボトルが漂着してしまい、景観を損ねてしまっている。現状の水族博物館にはそれらを廃棄するための予算は無く、寺泊支所の力を借りるしかない。今のところは職員が時間を見て漂着物を分別し、ペットボトルは産廃業者から収集していただいているが、先月、「漂着ごみは別の形で料金が必要になる」と言われてしまった。また、砂が堆積することによって排水設備が詰まってしまう。現在は水中ポンプで水を送って、砂自体を除去している。</p> <p>子どもたちがそんな海を見て、「海はこんなに汚いのか」という感想を抱いていることも考えられる。</p>
<p>委員</p>	<p>先日、寺泊水族博物館にていろいろ写真を撮らせていただいたが、館内の照明が明るくて写真が撮りづらいと感じた。</p> <p>三階から見える夕日も綺麗なので、来年度の事業として期間限定で営業終了後に別料金での開館を行ってはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかの動物園水族館で夜間開園や宿泊は存在するが、寺泊水族博物館の規模で宿泊は難しいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>以前は夏に夜間営業を行っていたが、来館者が少なく経費の面で厳しいため断念した。</p>
<p>委員</p>	<p>海が近い以上海水魚は当然として、淡水魚のコーナーもしっかりあつ</p>

<p>寺泊支所長</p>	<p>て、住んでいる土地ならではの魚が展示されているのはとてもよいと思ったので、これからも続けてほしい。</p> <p>寺泊の観光について考えた時に、長岡市トキと自然の学習館と寺泊水族博物館は子供の学びの場として非常に良いと考えていて、学校行事として訪れた後に、もう一度家族で訪れてほしいと思っている。</p> <p>また、海岸漂着物について、大きな流木は現在、県が回収しているが、処分地の小国最終処分場が満杯で入らないのが現状である。流木は塩気を含んでいるので、処分に費用がかかってしまうが、新年度に向けて対応を検討している。</p> <p>昨年国外からいらした市民訪問団の方々から、「ウミガメの水槽が小さくてかわいそうだ」という意見をいただいた。</p>
<p>事務局</p>	<p>国内のお客様からも「水槽が狭い」というご指摘をいただいているが、今の現状では改善は無理である。建て替えの際の水槽づくりでは、展示する生き物が将来的にどのくらいの大きさになるのかを考えて設計しなければならない。</p>
<p>委員</p>	<p>ここ数年間で寺泊水族博物館を訪れた1、2年生担任等からの意見で、学習という点でみると、見学後に記入できるリーフレットのようなものがあると良いという意見があった。バックヤード見学で水質の管理についての話もしてほしい。</p> <p>キャリア教育の点では、飼育員の苦労話や目指した動機、方法などを解説していただけると嬉しい。</p>
<p>委員</p>	<p>以前、副市長と寺泊の観光について話をしたが、寺泊水族博物館の名前が出てこなかった。今日の協議会で認識を改めたので、また市の方をお願いしていきたい。</p>
<p style="text-align: right;">以上</p>	
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>